

経営比較分析表（令和4年度決算）

兵庫県地方独立行政法人神戸市民病院機構 西市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	28	対象	透訓	救 臨 感 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	28,813	非該当	非該当	7：1

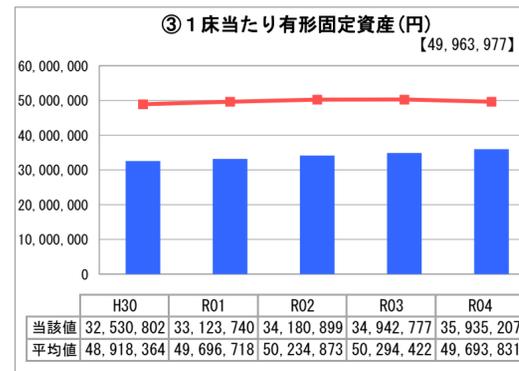
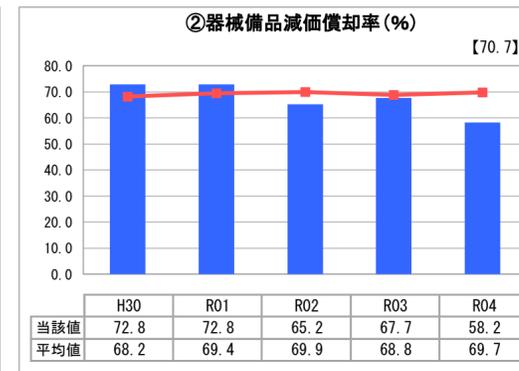
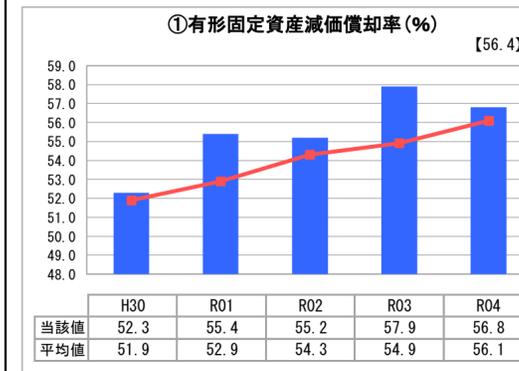
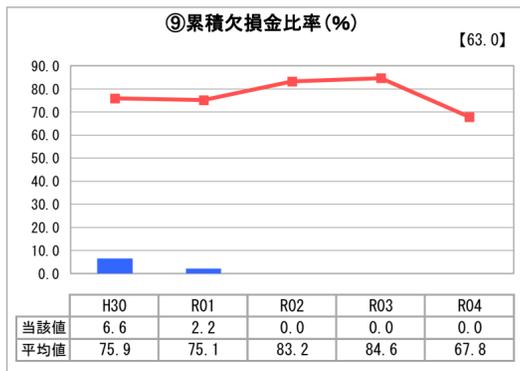
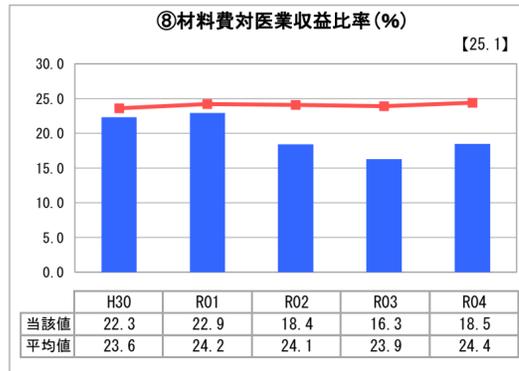
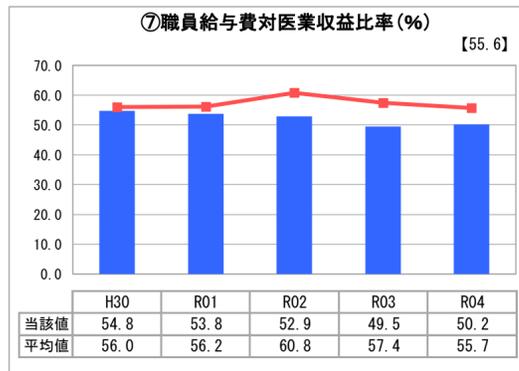
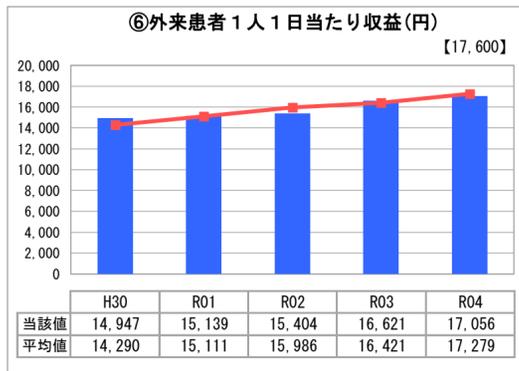
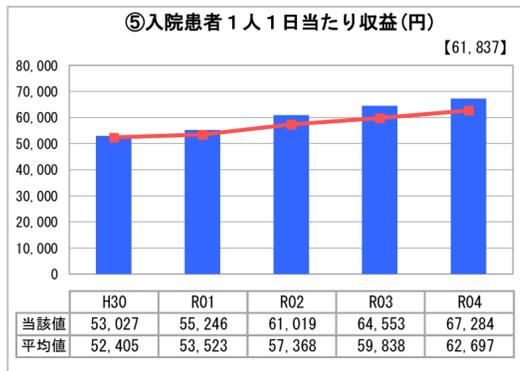
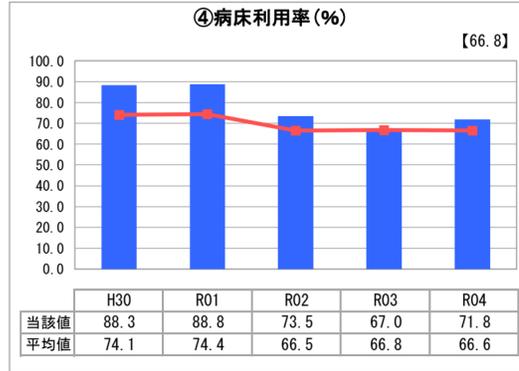
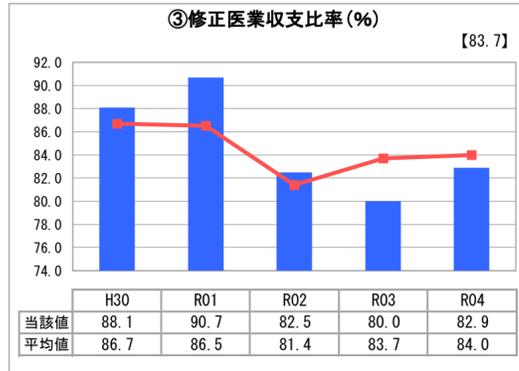
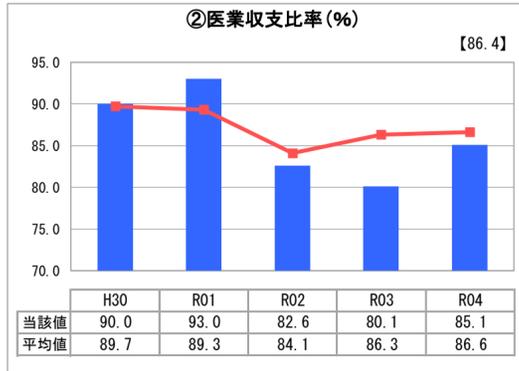
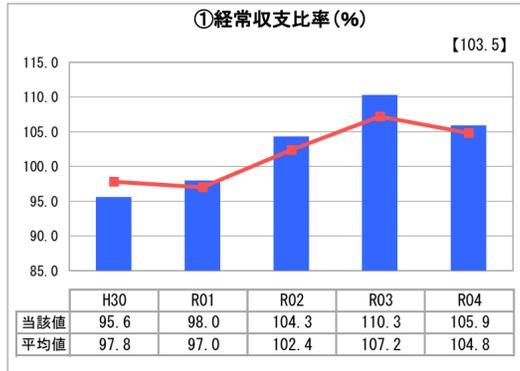
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
358	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	358
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
341	-	341

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
[]	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

市街地西部の中核病院として、救急医療・急性期医療を担い、24時間365日市民の生命と健康を守る役割を担っている。また、在宅医療支援を含めた地域社会との連携を図り、地域医療支援病院としての役割も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和4年度決算においては、新型コロナウイルス感染症対応に伴う診療制限はあったが、感染状況に応じて確保病床数を適宜見直す等、効率的な病床運営に努め、患者数が増加した。その結果、医業収支比率は上がったが、同感染症関連補助金の減少により、経常収支比率は下がっている。手術件数が増加したことや化学療法費の増加等により、入院・外来とも患者 1 人 1 日 当 たり 収 益 も 増 加 し て い る が、エネルギー価格高騰に伴う経費の増加等も踏まえ、収益確保のためにさらなる向上が必要である。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は平均値を上回っている。病院建物は本館は築後23年、北館は築後31年が経過していることから、維持管理に努めており、今後も建物改修、設備更新を計画的に行っていくこととしている。
器械備品減価償却率は、ダヴィンチの更新やMRのバージョンアップの他、機器の更新を進めたことから前年に比べ下がっている。

全体総括

1. に記載の通り、医業収支の改善や新型コロナウイルス感染症関連補助金を一定確保したことで経常収支比率は100%を上回っている。しかし、医業収支比率は依然新型コロナウイルス感染拡大前の水準に戻っておらず、各種加算の算定率向上や救急車応需件数の増等増収に努めるとともに、仕様・体制の見直しによる委託費の削減や徹底した価格交渉等により費用効率化に取り組んでいるところであり、今後もより一層の経営改善を図っていく。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。